

研究課題名	切除不能胆道癌による肝門部胆管閉塞に対するインサイドプラスチックステントの治療成績および再発性胆道閉塞関連因子に関する多施設共同研究
研究期間	実施許可日 ～ 2027 年 12 月 31 日
研究の対象	2010 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日までに、広島市立北部医療センター安佐市民病院で切除不能の胆道癌および胆管閉塞と診断され、ERCP によりインサイドプラスチックステントを留置された方。
研究の目的・方法	研究目的：切除不能胆道癌に伴う肝門部胆管閉塞に対するインサイドプラスチックステントの治療成績を明らかにすること。 研究の方法：研究対象者の診療録（カルテ）内にあるデータを使用して、ステントの開存期間や胆道閉塞再発に関わる因子について解析を行います。 この研究は広島大学を主機関、広島県内の 8 つの主要関連施設を共同研究機関とする多施設共同研究です。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：性別、年齢、パフォーマンスステータス、血液生化学検査所見、画像所見、病理学的所見、ステントの本数や開存期間、化学療法レジメンや治療期間、手術を施行されている例では術式や予後など 情報の管理責任者：広島市立北部医療センター安佐市民病院 肝胆膵内科 主任部長 行武 正伸
利用または提供を開始する予定日	2026 年 7 月 24 日（実施許可日以降）
個人情報の保護	得られた情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。個人と連結させるための対応表は、各機関の研究責任者が厳重に管理します。
外部への試料・情報の提供	広島大学から他機関への情報提供はありません。 広島大学への情報提供は、パスワード設定したエクセルデータをメール送信によって行います。
研究組織	当院の研究責任者 広島市立北部医療センター安佐市民病院 肝胆膵内科 主任部長 行武 正伸 研究機関の長 広島市立北部医療センター安佐市民病院 永田 信二 研究代表者 広島大学大学院医系科学研究科 消化器内科学 教授 岡 志郎

	共同研究機関 JA 尾道総合病院 消化器内科 副院長 花田 敬士 県立広島病院 消化器・胆膵内科 主任部長 佐々木 民人 JA 広島総合病院 消化器内科 副院長 藤本 佳史 広島赤十字・原爆病院 第一消化器内科 副部長 南 智之 呉医療センター 消化器内科 医長 岡崎 彰仁 安佐市民病院 肝胆膵内科 主任部長 行武 正伸 中国労災病院 消化器内科 部長 毛利 輝生 東広島医療センター 消化器内科 医長 河村 良太
その他	特記事項ありません。
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。 なお、公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。 広島市立北部医療センター安佐市民病院 肝胆膵内科 担当者：行武 正伸 〒731-0293 広島県広島市安佐北区亀山南 1 丁目 2-1 電話番号：082-815-5211（代表）